総合科学技術会議の司令塔機能強化

資料１－１

（平成２５年２月第183回国会　安倍総理施政方針演説）
「***世界で最もイノベーションに適した国***を創り上げます。***総合科学技術会議がその司令塔です。***」

「科学技術イノベーション総合戦略」
「日本再興戦略」
（平成25年６月閣議決定）

日本経済再生を強力に推進するため、科学技術イノベーション政策の重点課題として、総合科学技術会議の司令塔機能強化方針（予算措置、法律改正の実施を含む）等を閣議決定

総合科学技術会議・内閣府の各省に対する司令塔機能を抜本的に強化して、科学技術イノベーション政策を強力に推進

１．政府全体の科学技術関係予算の戦略的策定

進化した「科学技術重要施策アクションプラン」等により、各府省の概算要求の検討段階から総合科学技術会議が主導。政府全体の予算の重点配分等をリードしていく新たなメカニズムを導入。
（大臣が主催し、関係府省局長級で構成する「科学技術ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ予算戦略会議」を４回開催）

２．戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）

エスアイピー

→ 内閣府設置法の一部を改正する法律案（予算関連法案）

総合科学技術会議が府省・分野の枠を超えて自ら予算配分して、基礎研究から出口（実用化・事業化）までを見据え、規制・制度改革を含めた取組を推進。

科学技術イノベーション創造推進費：（H26当初予算）５００億円　（新規）

３．革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）

イ ン パ ク ト

→ 独立行政法人科学技術振興機構法の一部を改正する法律

実現すれば産業や社会のあり方に大きな変革をもたらす革新的な科学技術イノベーションの創出を目指し、ハイリスク・ハイインパクトな挑戦的研究開発を推進。 **（H25補正予算）５５０億円**（予算計上は文科省）